

第 77 回分析化学討論会 討論主題の趣旨及び依頼講演

討論主題 (7) --- 『分析化学における実験データの正しい扱い方』 (一般公開)

オーガナイザ：山本雅博 (甲南大学理工学部)

日本分析化学会近畿支部では、実験データを正しく扱うために必要なことを学ぶ講習会を 2007 年から継続して開催してきた。本シンポジウムでは、教育・研究との関連の紹介や問題提起を行っていただき、参加者で議論したい。

【依頼講演】

加納健司 (京都大学大学院農学研究科)

前田耕治 (京都工芸繊維大学分子化学系)

「なぜ実験データの解析は大事か？」

北隅優希 (京都大学大学院農学研究科)

「実験データの有効数字を理解する」

西 直哉 (京都大学大学院工学研究科)

「検定の考え方と実際」

諏訪雅頼 (大阪大学大学院理学研究科)

「最小二乗法と検量線」

上本道久 (明星大学大学院理工学研究科)

「検出限界と定量下限, 信頼性に関わる用語」

「不確かさの概念と無機分析における見積もり例」

※演題は変更する場合があります。講演順は未定です。

2017 年 3 月 27 日現在